

介護現場における生産効率を高める為の取り組み

社会福祉法人 池田博愛会（徳島県）

住 所 〒 778-0020

徳島県三好市池田町州津滝端 1271 番地 7 地域交流センターはくあい内

T E L 0883-72-3150

U R L <https://www.ikedahakuikai.org/>

経 営 理 念 わたしたちは、人の尊厳に立ち
地域を大切に、地域に愛され、地域に信頼される
法人をめざします。

事 業 内 容 障 害 児 入 所 施 設 (40 名) 1 カ 所
及 び 定 員 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 【 短 期 入 所 】 (3 名) 1 カ 所
障 害 児 通 所 支 援 事 業 【 児 童 発 達 支 援 】 (30 名) 1 カ 所
障 害 児 通 所 支 援 事 業 【 児 童 発 達 支 援 】 (20 名) 1 カ 所
障 害 児 通 所 支 援 事 業 【 児 童 発 達 支 援 】 1 カ 所
障 害 児 通 所 支 援 事 業 【 放 課 後 デ イ サ ー ビ ス 】 (10 名) 1 カ 所
障 害 児 通 所 支 援 事 業 【 放 課 後 デ イ サ ー ビ ス 】 (5 名) 1 カ 所
障 害 児 通 所 支 援 事 業 【 保 育 所 等 訪 問 支 援 】 2 カ 所
障 害 者 支 援 施 設 【 就 労 継 続 支 援 B 型 】 (50 名) 1 カ 所
障 害 者 支 援 施 設 【 就 労 移 行 支 援 】 (6 名) 1 カ 所
一 般 ・ 特 定 ・ 障 害 児 相 談 支 援 事 業 1 カ 所
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 【 共 同 生 活 援 助 】 (4 名) 12 カ 所
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 【 共 同 生 活 援 助 】 (5 名) 3 カ 所
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 【 共 同 生 活 援 助 】 (6 名) 3 カ 所
障 害 者 支 援 施 設 【 施 設 入 所 支 援 】 (70 名) 1 カ 所
障 害 者 支 援 施 設 【 生 活 介 護 】 (90 名) 1 カ 所
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 【 生 活 介 護 】 1 カ 所
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 【 短 期 入 所 】 (4 名) 1 カ 所
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 【 介 護 福 祉 サ ー ビ ス 】 (71 名) 1 カ 所
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 【 介 護 福 祉 サ ー ビ ス 】 (60 名) 1 カ 所
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 【 地 域 密 着 型 】 (10 名) 1 カ 所
老 人 短 期 入 所 事 業 (21 名) 1 カ 所
老 人 デ イ サ ー ビ ス 事 業 【 通 所 介 護 】 (25 名) 2 カ 所

老人居宅介護等事業【訪問介護】 1カ所
居宅サービス事業【訪問入浴介護】 1カ所
小規模多機能型居宅介護事業（25名） 1カ所
軽費老人ホーム（29名） 1カ所
老人介護支援センター 1カ所
介護予防支援事業【生きがい活動支援通所事業】 1カ所
障害者就業・生活支援センター事業【公益事業】 1カ所
三好市生涯活躍のまち推進に資する事業【公益事業】 1カ所

収 入 (法人全体) 平成 29 年度決算	①社会福祉事業	2,309,241,258 円
	②公益事業	137 円
	③収益事業	0 円

職 員 数 489 名（非常勤含む）
(法人全体)

当 面 す る
経 営 課 題

- ・福祉サービス事業の人材確保と事業の中核を担う人材育成
- ・福祉サービス事業の利用者確保と収益における人件費率の抑制
- ・施設老朽化に伴う維持補修費及び修繕費の増加並びに建替等への対応
- ・三好市より地域再生推進法人として指定を受けているが、福祉サービス事業と地域再生事業のバランスのとれた事業推進



介護現場における 生産効率を高める為の取り組み

池田博愛会
 高齢担当 坂田真太
 障害担当 真鍋 義

池田博愛会

社会福祉法人
池田博愛会
地域と共に

三好市 徳島県

吉野川

日本三大秘境
祖谷渓谷

ラフティング
世界選手権

重要伝統的建造物群
保存地区落合集落

世界農業遺産
急傾斜地農業

吉野川

池田博愛会



三好市の人口:26,606人
65歳以上 :11,285人
高齢化率:42.4%

65歳以上
42.4%



少子高齢化が進み、我々中山間地域の三好市では、人口減少高齢化の進行が著しく、集落の活力の低下、小規模化などから集落としての機能の維持が困難になってきています。



事業所の概要 社会福祉法人池田博愛会



高齢者ケア総合センター

- ・特別養護老人ホーム 永楽荘
 - ・特別養護老人ホーム 長生園
 - ・デイサービスセンター 月
 - ・デイサービスセンター 星
 - ・小規模多機能ホーム 弥生
 - ・経費老人ホーム ケアハウス 宝珠
 - ・訪問介護事業所
 - 在宅介護支援センター
 - ・居宅介護支援 第一在宅介護支援センター
- 計:8事業所

障害者支援総合センター

- ・グループホーム はくあい
 - ・障害児入所施設 池田学園
 - ・就業・生活支援センター はくあい
 - ・障害者支援施設 善蔵山荘
 - ・児童発達支援センター すぎのこ
 - ・児童発達支援事業所 どんぐり
 - ・障害福祉サービス事業所 セルブ善蔵
 - ・生活支援センター はくあい
 - ・法人本部
- 計:9事業所

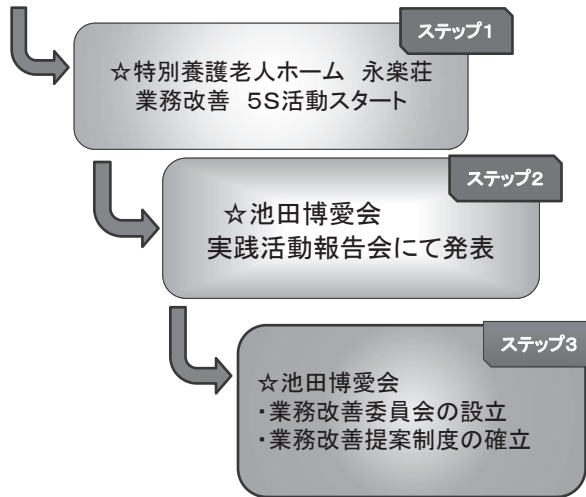
池田博愛会

社会福祉法人は、今改革のまっただ中にあり、実績・成果を求められ経営・高品質サービスの向上と共に、公益事業が求められる厳しい環境になりました。

製造現場での業務改善や、5Sのノウハウを習得した職員による現場の診断結果から、生活に新しい息吹と豊かさをかもしだす職場となり、生産性向上が高まる手法に着手しました。

池田博愛会

介護現場における生産効率を高める為の
取り組みの流れ



課題
介護現場

- ①介護を必要とする高齢者の増加
- ②介護職員の人手不足や働き方改革による改善
- ③②の解決策として介護ロボットの導入
- ④介護にかかる効率的な経費の削減

介護現場では、さまざまな問題が錯綜し業務の整理・整頓が問われています。

手法

モデルハウスとして、特別養護老人ホーム 永楽荘を選定し、

目を離さず、手を出さず、自立支援の観点より、
手間を少なく、楽しく提供するサービスは
高品質なものを！

スローガンに掲げH26年より現場での5Sやプチ改善を行い職員に改善の意義や、楽しさを少しずつ体験してもらい生産効率の向上に
取り組みました。

池田博愛会

介護現場での改善事例

項目 車いすブレーキフックの延長		項目 傾き抑制マット	
改善前	改善後	改善前	改善後
<p>ご自分で自走される方がおられ、ブレーキを掛けられますが、固くてかけずらく、職員の補助が必要でした。</p>	<p>ブレーキフックを30φのアルミパイプを使用し延長する事で、ご自分の力でブレーキを掛ける事が出来るようになりました。脱着はワンタッチで可能です。</p>	<p>椅子移乗時、時間経過により姿勢保持が困難な方がおられ、職員が都度姿勢を直していました。</p>	<p>背もたれを、横にも取り付け出来なにかとの発想から・・・座布団の大きさ程度の保護ボードを作成し設置した。安定した座位を保たれる事が出来るようになっていました。</p>

池田博愛会

介護現場での改善事例

項目 トイレの背もたれ

改善前



背もたれがないことで、排泄時の介助バーを使用しても姿勢を保持できない方がいた。職員の補助が必要であった。

改善後



便座にも椅子のように背もたれがあれば…との発想から、浴室で使用していた不要となっていた浴槽チェアを改造して取り付けました。清掃時等には取り外し可能です。(ワンタッチで脱着可能です。)

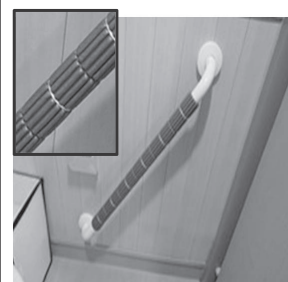
項目 トイレの手すり滑り止め

改善前



排泄後、手すりを持たれ立位を取っていただきますが、手すりがプラスチック製で滑りやすかった。

改善後



テニスラケットのグリップのように、できないかとの発想から…駐車場の壁に貼る緩衝材を巻き付けました。耐久性は抜群です。グリップも向上！

池田博愛会

職員の立位での労働環境の改善として…

項目 疲労低減キッチンマット

改善前



短い時間ではあるが、キッチンでの洗い物を繰り返す作業は大変です。

改善後

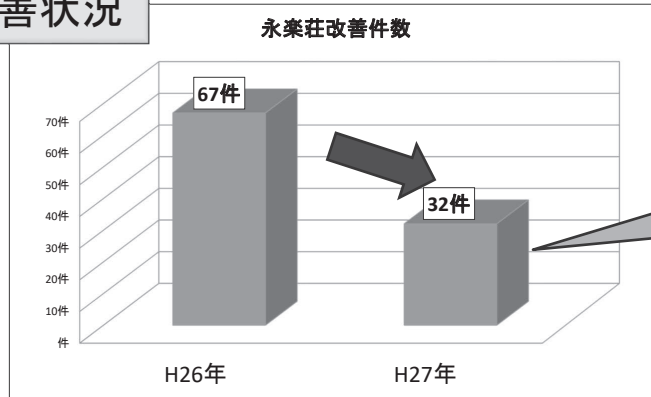


低反発のフロアシートを導入し、疲労の低減を実施した。好評で、靴底にも貼ってほしいと声があった。縦450×横900×厚み15(mm)

永楽荘

永楽荘 介護現場改善状況

福祉用具は安全であるとの概念はさて、何かひと工夫する事で良い物が出来ないか考える力ができた。



改善項目内容のレベルが向上し1件の改善時間が長くなった為です。

永楽荘での改善状況を、実践活動報告会にて報告しました。
このような改善の取り組みは、介護現場の3K(きつい、汚い、危険)のイメージを脱却する第一歩となったわけです。

池田博愛会

①業務改善委員会の設立

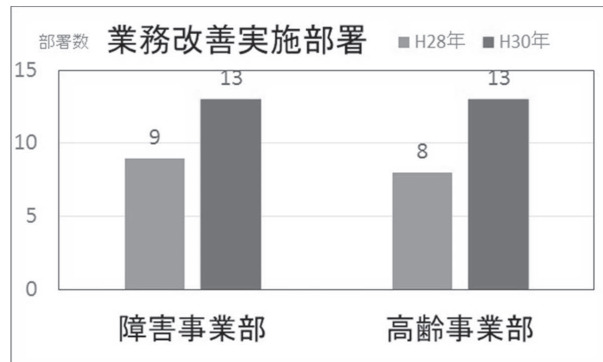
永楽荘における改善事例を、池田博愛会実践活動報告会にて報告を行ったところ、法人としての位置づけをもらいグループ全体への展開として、業務改善委員会を立ち上げました。

- ・障害事業部: 9事業所 9部署
 - ・高齢事業部: 8事業所 8部署
- 計17事業所にてH28年よりスタートさせました。

現在

- ・障害事業部: 9事業所 13部署
- ・高齢事業部: 8事業所 13部署

計26部署まで拡大



介護現場での
改善活動



職員の意識
レベルの向上



現場の活性化

池田博愛会

①業務改善委員会の設立

手順

テーマ進行をスムーズに行うため、障害事業部、高齢事業部に**製造現場での業務改善や、5Sのノウハウを習得した職員各1名**のサポート役をつけ、QC手法を取り入れ、施設ごとにテーマを選定し、P(計画)D(実行)C(検討)A(改善)の管理のサイクルに沿って実施した結果を以下のフォームにまとめ記録を残す様にしました。サポート役の職員は、月に1度各施設を訪問し各業務改善委員担当者と現場確認や、問題点を話し合いPDCAサイクルを回しています。

PDCAシート

幹部会議提出資料 問題及び改善項目

事業所名: 永楽荘 調理

問題及び改善項目	食の安全安心(配食ミスの低減)			
期間	平成30年 1月 ~ 平成30年 5月			
(P 計画) 対応策を作成する	(D 実行) 成果の把握をする	(C 検討) 結果の判断	(A 改善) 今後の取り組み	
・配食ミスの過去半年間(H29.7月~12月)の発生状況を把握し、データの整理を行う。	・発生月日、ユニット、朝、昼、夕、内容、食品の項目に分けてデータの整理を実施した。	・6か月間の状況が解るようになった。	・各項目別に分析を行う。 ※再発防止の為、原因追及を徹底して下さい。	
1				
2	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目別に分析を行う。誤りが多いが15件発生内容を精査した。 ・別の送り先の内容は、グラフの様な内容で、対策として食器に注意分ける時に必要なユニットを付箋に書いておき、つぎ分けた時に付箋を貼り、配膳カードに入れて行く手順に変更した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・別のつぎ分け方法が明確になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他食品について配食ミスを防止する手法を考案。 ※チームで話し合い簡単に完璧な手法を考えてみてください。 	



池田博愛会

①業務改善委員会の設立

H28年1月よりスタートし、現在までに、
・障害: 75テーマ・高齢: 63テーマ
(TL: 138テーマ)に取り組んでいます。

業務改善委員 実績報告(障害事業部)

業務改善委員実績報告(高齢事業部)

No	部署名	取り組み期間	テーマ (詳細は各部署ワークシート参照下さい。)
1	長生園 介護	H28.1月~H29.11月	表皮剥離 8件から0件へ
2		H28.12月~H29.5月	擦傷予防
3		H29.6月~H29.8月	擦傷予防(体交方法の改善)
4		H29.9月~H29.12月	オムツ発注業務の効率化
5		H30.1月~	サービスの質の向上(サービス改善の振り返り)
6	長生園 事務	H28.7月~H29.5月	事務作業時間の削減
7		H29.6月~H29.8月	請求事務の時間短縮
8		H29.9月~H29.12月	費用実績表作成時間の短縮
9	長生園 調理	H30.1月~	文書管理について(市よりの指定管理移行の為)博愛食文書管理規程に添う様確認する。
10		H28.7月~H29.4月	配食ミスの低減 6件→0件 (BM: H28年4月)
11		H29.5月~H29.6月	食材管理方法の見直し(冷凍、冷蔵保管対象食品)
12		H29.7月~H29.12月	食材管理方法の見直し(食品庫)
13		H30.1月~	食材管理方法の見直し(食品庫)
14	長生園 看護	H29.5月~H29.12月	転落防止の見直し
15		H30.1月~	転落防止による申し送りの誤差をユニットよりの依頼事項の完結を狙う。
16	ケアハウス 宝珠	H27.12月~H28.6月	配食ミス 1件 ~ 0件
17		H28.7月~H29.4月	事務作業の効率化(検票欄の見直し)予定カレンダーの見直し
18		H29.5月~H29.7月	事務作業の効率化(健康チェックの見直し)
19		H29.8月~H29.9月	事務作業の効率化(ベランダ清掃チェック後の作成)
20		H29.10月~H29.12月	事務作業の効率化(プラスシートでのチェック表作成)
21		H30.1月~	マニュアルの見直し(聞かなくても見える化をしておけば誰でも対応できる様にする。)

No	部署名	取り組み期間	テーマ (詳細は各部署ワークシート参照下さい。)
1	セルフ音楽	H28.1月~9月	忘れ物又は手順ミス (手順ミスのヒヤリハットを月5件以下にする)
2		H28.10月~H29.3月	安全対策 (安全に関するヒヤリハットを月3件以下にする)
3		H29.4月~H29.7月	作業ミス軽減。(利用者・職員の作業に関するヒヤリハットを月3件以下にする)
4		H29.8月~H29.10月	いらいら作業ミスの軽減
5		H29.11月~H29.12月	割り箸作業でのコスト削減及び安全について
6		H30.1月~	割り箸製造における効率化(各工程別の効率化、修繕時間の短縮、品質向上)
7	尊厳山荘(生活支援)	H28.1月~H28.3月	誤薬・配薬ミスを0件にする。(サービス改善報告書及びヒヤリハットで確認)
8		H28.4月~H28.12月	誤薬・配薬ミスを0件にする。A・Bユニット(サービス改善報告書及びヒヤリハットで確認)
9		H29.1月~H29.6月	転倒、転落等の防止、是正処置の検証。(サービス改善報告書及びヒヤリハットで確認)
10	尊厳山荘(調理場)	H29.7月~H29.12月	利用者の高齢化に伴い身体機能向上に取り組む。
11		H30.1月~	情報の共有と周知を図る。記役・投票のミスを無くす(サービス改善より)
12	尊厳山荘(調理場)	H28.7月~H29.3月	下処理室の清掃(毎日清掃実施しているが、細部までは実施出来ていない為、月1回は大掃除の時間を設け、衛生面の向上を図る)
13		H29.4月~H29.12月	「洗浄区域(下槽シンクまわり、洗浄機、床みぎき)の大掃除を月2回実施するようにする。」と、業務に取り組みしていく。
14		H30.1月~	食の安心・安全について。(コスト削減)

池田博愛会

①業務改善委員会の設立

改善事例障害事業所 セルプ箸蔵

調理部門 ・デッキオープンの管理方法の改善

デッキオープン

- 1 電源を入れる
- 2 上火・下火の温度設定をする
- 3 上火・下火の火力設定をする
- 4 時間を設定する
- 5 タイマーボタンを押す

デッキオープンの操作手順が解るようにSWIにナンバリングを施した。順番を間違えることなく、確認できる。また、調理機器の適切な電源ON・OFFによるデマンド値の管理をはじめました。(設定契約電力値を管理するため、電力会社へ各調理器具の使用電力を調査し適切な調理機器の電源ON・OFFの時間配分を設定した。)



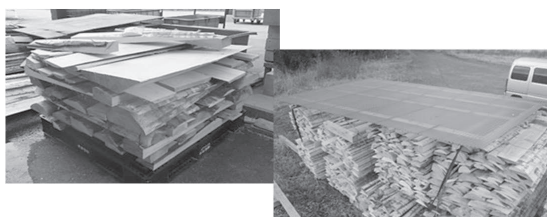
池田博愛会

①業務改善委員会の設立

改善事例障害事業所 セルプ箸蔵

割りばし工場

- (間伐材を使用した環境にやさしい取り組み)
・割りばしの原材料保管方法



一部の割りばし原材料が、やむを得ず野ざらしになる。表面からカビが発生し内部まで侵食する。また乾燥状況に大きなばらつきがある。簡易屋根を作ることで、カビの発生を抑制し乾燥状態を一定に保つ事が出来た。10%の原材料不良が無くなった。不良率の低減になった。

割りばし工場

- ・割りばしの限度見本の作成



外観限度見本により、選別の基準のばらつきが無くなった。外観検査員間の検査レベルに差異が無くなった。客観的な判断により、選別品質が向上した。また、良品確保が進み生産性の向上が計られた。

池田博愛会

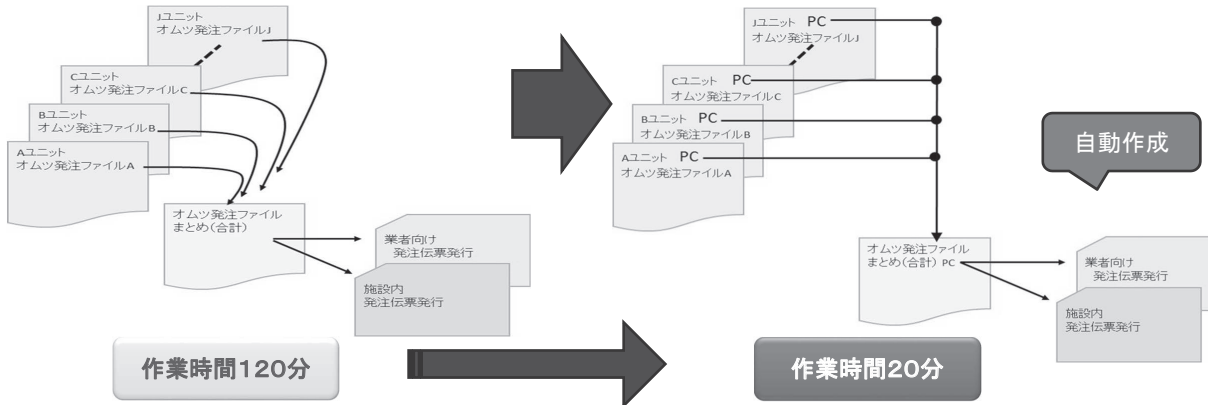
①業務改善委員会の設立

改善事例高齢事業所 長生園 永楽荘

介護部門 ICTを活用したおむつの発注システムの構築

従来はすべて手書きによる、ファイルより集計を行い発注していた。

施設内ネットワークを利用し、発注するシステムを構築した。発注担当者は、集計作業もなくなり、各伝票発行もワンクリックでできるようになった。

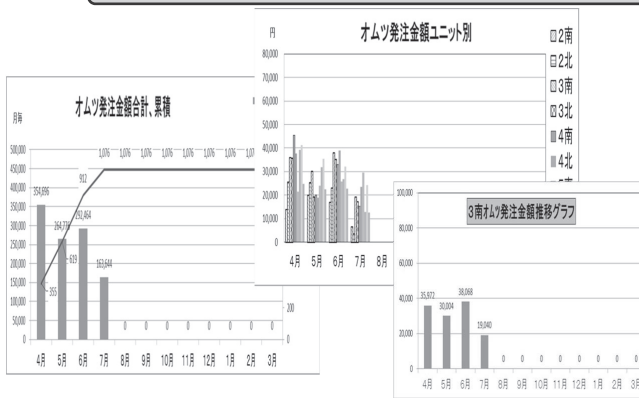


池田博愛会

①業務改善委員会の設立

改善事例高齢事業所 長生園 永楽荘

介護部門 ICTを活用したおむつの発注システムの構築



ネットワークを活用したオムツの発注業務に加え、日用品(ユニットで使用する、洗剤、ペーパータオル、掃除用具等)の発注についても同様のシステムを構築しています。

メリット

- ①職員のコスト意識が向上します。
- ②発注書等の文書管理が容易になります。
- ③施設内での情報共有が可能となりました。
- ④品目の変更とか、集計された数値の見える化(グラフ化)等メンテナンスは、常に必要であり施設職員の対応が可能のため、ジャストオンタイム(必要な時にすぐ対応できる)に対応できます。

発注状況(合計金額、ユニット毎の金額)が、グラフにより確認できるようになっています。

池田博愛会

②提案制度の設立

気づき提案



気づき提案とは！

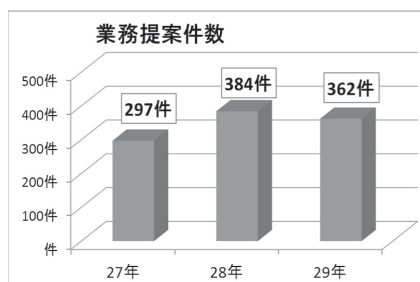
業務の中で、いつもは左側に置いていた道具を、右側に置くことで作業性が向上した等、ちょっとした気づきで効果が見られた事を提案していくものです。

提案は、
①提案事項
②提案理由
③改善内容・具体的手順
④期待できる効果
⑤実施日または実施期間
⑥実施した活動の検証と効果確認
6項目を記入し提出します。
評価者により
①着想②努力度
③効果（・利用者サービス・コスト削減・効率化・リスク軽減・環境改善）
④適用範囲
という内容で細かく基準が決められており、採点を公平にしています。

気づき提案の効果

- ①人材育成
- ②職場の活性化
- ③利益の向上

以上の3点が必然的に改善され、常に問題意識を持った考える職員が増えました。



池田博愛会

介護ロボットの導入



職員への負担軽減につながっています。

池田博愛会

学んだこと

1. PDCAサークルを回し、小さな改善を積み上げるにより、ご利用者様の生活が、安心・安全で快適に過ごしていただける環境の改善が得られて来ており、生産効率の向上に繋がっています。
2. 現場よりの声がたくさん出始めたこと。
3. より良きサービスを提供できるようにと、考え続ける職員が増えたこと。
4. 気運が高まり、改善項目がたくさん。生まれてきた。

そして 今後も…

我々は、サービス業であることからどうしても人に頼らなければなりません。再発しない対策を100%実施することは難しく、小さな改善を積み上げ、職員のやる気・手腕を向上させます。

人(職員)の業務におけるスキルをいかに向上させ、知的財産を継続的に次の世代に残し伝えていく事が、最重要課題であると学びました。

池田博愛会

【今後の課題】

法人では、近未来計画を作成しています。

生涯活躍の町づくり事業の地域再生法人としての指定を受け、人を呼び込み・にぎわいを取り戻す地域交流拠点箬蔵とことんの里構想に、取り組んでいます。

地域の方のよりどころであり、安らぎの場として福祉の里で培われたほっとかない心、とことんの心で地域共生社会で支えあう機能を発揮します。

また、目指す福祉とビジネスは地域の産業を支え雇用を生み、過疎化が進む街の経済を活性化させ、次世代に繋ぐ活動が生涯安心のわがまちで心豊かに暮し続ける事を確信し、夢見る力を実現の力となって行動を起こします。

池田博愛会